

第2回ふじみ衛生組合リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会

議事要旨

会議の名称	第2回ふじみ衛生組合リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会
開催日時	令和5年3月6日 18:30～20:20
開催場所	ふじみ衛生組合3F会議室
委員の氏名(所属)	橋詰 博樹(会長)(多摩大学 グローバルスタディーズ学部) 宮脇 健太郎(副会長)(明星大学 理工学部 総合理工学科) 小暮 与志夫(小平・村山・大和衛生組合 事務局) 野本 修(西村あさひ法律事務所) 山口 直也(青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科)
欠席者の氏名	—
事務局	ふじみ衛生組合 荻原、河西、山賀、脇山、伊東、高橋、加藤(孝)、林
コンサル	(一財)日本環境衛生センター 寺内、池本、角田、川緑、丸山、岡部、堀内
公開・非公開の別	公開
議題	(1) 前回審議会議事要旨録(案)の確認 (2) 事業方式について (3) 事業者選定方法について (4) メーカーアンケートについて
配布資料	資料1 第1回事業者選定審議会議事要旨(案) 資料2 委員名簿 資料3 事業方式比較表 資料4 民間事業者(プラントメカ)の選定方法についての比較 資料5 アンケート資料案 資料6 スケジュール

議題	対応・発言者	審議の内容（審議経過・決定事項）
1 開会	事務局	事務局が開会を宣した。
2 会長挨拶	橋詰会長	橋詰会長より開会の挨拶が行われた。
3 議事	事務局	(1) 前回審議会議事要旨録（案）の確認 事務局より資料1の説明を行った。
	橋詰会長	第1回事業者選定審議会議事要旨録（案）を確定としてもよいか。
	各委員	異議なし
	橋詰会長	事務局は公開に向けた必要な事務手続きを行うこと。
	事務局	拝承
	事務局	(2) 事業方式について 事務局より資料3の説明を行った。
	山口委員	現在、組合は地元の運転事業者へ委託しているが、資料3-2では、DBM事業の場合等において、公共が自ら実施と記載されており、整合が図られていないのではないかと。
	事務局	御指摘のとおりであり、修正する。
	山口委員	民間事業者（プラントメーカー）が持つノウハウを発揮するという点、リサイクルセンターの従業員の雇用の確保・維持の2点が大きなポイントになってくる。DBM方式＋運転業務監理方式でVFMがある程度適正に出るのであれば、実施せざるを得ないのではないかと。
	野本委員	DBM＋運転業務監理方式について、DBM事業者と運転事業者の従業員は直接の契約関係がないため、指揮命令関係を持たない。そのため、運転リスクをDBM事業者が負うという表現は違和感がある。また、財政負担額からするとDBOが最も安価である。したがって、DBMまたはDBM＋運転業務監理方式について、地元雇用が図れるというメリットについて、当方の立場では判断ができないため、事業方式を本審議会で決定するというのは難しい。
事務局	DBM＋運転業務監理方式でイメージしているのは、DBM事業者が監理監督、教育を運転する会社の従業員に行うことを想定している。運転員が故意に起こした事故などは運転事業者の責任（リスク）として整理をしたいと考えている。	
野本委員	そのような認識であるならば運転リスクをDBM事業者に移転できるという表現を改めるべきかと思われる。また事故・トラブルが生じた場合、DBM事業者の教育訓練不足なのか、運転委託事業者の運転員の資質の問題なのかという点が曖昧になることが懸念である。	
山口委員	野本委員の御意見のとおり、事故・トラブルが生じた際、DBM事	

		<p>業者の指導不足が原因か、それとも運転事業者の運転員が指導に従わなかったことが原因かという問題は生ずると思う。関連して資料3-2では、DBM+運転業務監理方式において、民間事業者（プラントメーカ）という単語が使用されているため、DBM事業者を指すのか、運転委託事業者を指すのかをしっかりと整理していただき、今後の要求水準書等でも明確にしておく必要がある。</p>
	事務局	<p>御意見のとおり、DBM事業者を指すのか、運転委託事業者を指すのか整理を行う。DBM事業者がSPCを設立した場合、SPCも1つの民間事業者（プラントメーカ）となるため、その点にも留意しながら整理を行いたい。</p>
	宮脇副会長	<p>DBM方式の採用実績は全国的に少ないという点は理解できた。事務局の説明を踏まえると、DBM方式を採用する場合、地元雇用の観点が大きいのかと感じる。したがって、資料3-2に記載されている「特別な」という修飾語は必要ないように感じたため、再考いただければと思う。</p>
	事務局	<p>「特別な」という表現は削除させていただく。</p>
	小暮委員	<p>小平・村山・大和衛生組合の現有施設においては組合が運営し、運転委託による運用を行っている。これは施設管理するにあたって、固有職員が組合に在籍しており、施設の管理を行って知識経験を蓄積している。しかしながら、ふじみ衛生組合は、固有職員がおらず、施設の修繕を行うにあたって、知識経験が蓄積されていないため、適切な運営維持管理が難しいと思われる。こういったプラント機器は基本的に一品もので制作しているため、操作方法等について組合側から運転指導をするということも難しい。事務局が提示したDBM方式、DBM+運転業務監理方式、DBO方式から絞るという方向でよいのではないかと考えている。</p>
	事務局	<p>財政負担の軽減、地元雇用を含む地域経済への貢献の2点のバランスをとる必要があると考えており、DBO方式が財政負を軽減できるものの、地域経済への貢献という点では、100%の地元雇用は難しいという調査結果もある。また小暮委員より御意見がでたようにふじみ衛生組合では固有職員がいないことから、DBM+運転業務監理方式が望ましいのではないかと考えている。</p>
	野本委員	<p>DBM方式、DBM+運転業務監理方式を採用するに当たってリスク分担及び業務分担を整理いただくことが一番重要かと思われる。またDBOよりも幾分か財政負担は大きくなるため、その点をしっかりと整理すること、またリスク分担及び業務分担等を明確にし、実際の運用した時に、発注時との乖離が無いように努めること。</p>
	事務局	<p>承知した。全国的にDBM+運転業務監理方式の前例はないものと認識している。今後、作成する募集要項にあたっては委員の皆様にご意見いただき、素晴らしい事業になるよう努めたい。</p>

橋詰会長	地元雇用に関する調査データを配布しているが、これら施設は稼働している状態なのか。
事務局	稼働している施設を対象としている。
橋詰会長	民間事業者（プラントメーカー）の提案のとおり、履行されていると理解してよいか。
事務局	民間事業者（プラントメーカー）の提案の内容を正確に把握できてはいないが、初年度に地元雇用率100%ではなくとも、年数をかけて地元雇用率100%に近づけている事例が多くみられると認識している。なお、対象としている事業方式はDBO方式である。
山口委員	資料5-3でリスク分担表を示しているが、本事業のリスク分担は組合と民間事業者（プラントメーカー）であるDBM事業者、組合と地元の運転委託事業者という構図になる。リスク分担について、次回の委員会以降で詳細な検討が必要と感じる。今後、実施方針等を公表する場合、リスク分担表も公表対象となる。留意して資料の作成に努めること。
橋詰会長	DBM+運転業務監理方式を事務局は志向しているが、まだ詰めるべき点が残っているというのが概ねの意見だと思う。引き続き検討を進めてほしい。
事務局	拝承
事務局	(3) 事業者選定方式について 事務局より資料4の説明を行った。
野本委員	総合評価一般競争入札の特徴について、1社入札の場合、再入札となるおそれがあると記載されているが、詳細な御説明をいただきたい。
事務局	予定価格を公表した場合、1社入札では予定価格に限りなく近い価格で入札することが想定される。1社のみ入札だと価格競争が生じないため、自治体によっては、1社入札を認めないケースもあるということである。
野本委員	貴組合において、発注時に予定価格の公表を行うのか。
事務局	発注時に予定価格を公表する。発注者が予定価格を示さないと民間事業者（プラントメーカー）が予定価格範囲内で最適な提案内容を立案することが困難だと推測していることが理由である。
宮脇副会長	1社入札を可とするのか、不可とするのかは決まっているのか。
事務局	組合として、方針は決定していない。ただし、多摩地域での1社入札の事例を見ると、価格競争が起きておらず予定価格に対する落札価格は99%前後である。一方、2社、3社となると予

		定価格に対する落札価格は60～70%まで下がる例もある。なお、再入札となると時間を要するため、現在稼働しているリサイクルセンターの機械設備の損耗具合等を総合的に勘案しながら判断していきたい。
	小暮委員	リサイクルセンターの現状について御説明をいただきたい。
	事務局	平成6年12月竣工で稼働約30年弱である。今の施設にはごみピットがないため、原則、搬入されたごみは当日処理を行っている。従って、施設を1か月、2か月停止して、大規模修繕ができないという施設である。現在は金曜日のごみの搬入を終えた後に修繕を行って応急的に対応しているような状況である。築年数の割りに施設の老朽化は進行しているものと認識している。リサイクルセンターを現在の修繕体制でどの程度の期間もたせることができるのかについて、事務局で検討した上で各委員の皆様にお示しできればと考えている。
	山口委員	資料4-2において、プロポーザル方式は非価格要素の評価と記載されているが、価格要素も評価するのではないか。
	事務局	御指摘のとおり、プロポーザル方式であっても価格評価を行うケースがある。当該資料においては、非価格要素で審査を行った民間事業者（プラントメーカ）と契約交渉を行う一般的なプロポーザル方式を掲載させていただいた。
	山口委員	DBM+運転業務監理方式にするということであればコストを下げる必要があり、価格評価を行うことが自然に感じる。総合評価一般競争入札でもプロポーザル方式であっても加算式によって、総合評価点を算出するという点に違いはない。総合評価一般競争入札とプロポーザル方式の違いは、次点交渉権者を確保できること、選定された民間事業者（プラントメーカ）との契約交渉の余地があることである。組合でそれらの観点からリスクヘッジを行うのであれば、プロポーザル方式になると思われる。従って、事業者選定方式は審査委員会で判断するのではなく、組合で判断いただく必要があると思う。
	事務局	組合が焼却施設の整備・運営事業の発注を行った際、非価格要素と価格要素のバランスを取れた評価が行えたものと認識しており、本事業においても総合評価一般競争入札で実施したいと考えている。
	橋詰会長	本事業について総合評価一般競争入札で進めるものとして、準備を進めること。
	事務局	拝承
	事務局	(4) メーカーアンケートについて 事務局より資料5の説明を行った。
	山口委員	①「DBM方式とした場合における事業範囲に関する希望条件があ

		<p>れば記載してください」という設問について、事業範囲と限定してしまうと記載することが限られてしまうため、「DBM方式とした場合に組合へ要望したい事項があれば記載してください」とするべきではないか。</p> <p>②建設費及び運営費について、インフレ率を見込んで回答せしてしまうと、実際の運用時にインフレ条項が適用した際、組合としては民間事業者（プラントメーカ）へ二重払いになってしまうのではないか。インフレを考慮することは構わないが、そうであればスプレッドシートのような形で見積を徴取してしまうほうがよいように感じる。</p>
	事務局	<p>①御意見のとおり修正する。</p> <p>②インフレ率は考慮しない形での概算の見積徴収を行うこととする。</p>
	野本委員	<p>①事業費の支払いのうち、固定費の維持管理費（メンテナンス）が大部分を占めると思われる。この維持管理費用を平準化する考えかどうかを事業者に伺ってはどうか。</p> <p>②人件費は人数だけの記載を求めているが、実際の定量評価を行う場合は、この人件費の考え方を加えて総合的に評価するのではないか。</p> <p>③電力基本料金等の用役費が民間事業者（プラントメーカ）の負担となっている点について、DBM事業者は運転を行わないにも関わらず用役費の負担を持たせるのはなぜか。</p>
	事務局	<p>①御意見を踏まえて修正する。</p> <p>②御意見のとおり、事業費全体としてはコストとしてかかる要素であるため、人件費も含めた定量的な評価が必要だと考えている。</p> <p>③組合としては、DBM事業者が地元の運転委託事業者に対して、施設の運営・運転にかかる節電等の教育を行うことを想定して費用負担を民間としている。今後の委員会の御意見を踏まえて検討していきたい。</p>
	山口委員	<p>現在、リサイクルセンターの運転を担っている2社へ対して、用役費の実費精算をしているのか。</p>
	事務局	<p>現状、用役費について、すべてふじみ衛生組合で負担している。</p>
	山口委員	<p>DBM事業者は全国で運転管理を行っているため、それらのネットワーク等を活かして用役の大量購入を行って安価で仕入れるという調達手段を確保してもらえばよいのではないか。</p>
	事務局	<p>御意見のとおり、そういった民間事業者（プラントメーカ）のノウハウを期待して用役費を民間事業者（プラントメーカ）負担としている。</p>
	山口委員	<p>地元の運転委託事業者には用役費を削減するようなノウハウがないため、事業者選定の際、民間事業者（プラントメーカ）の評価項目に入れて、調達方法の工夫に関して提案を求めること</p>

		がよいと思われる。	
	小暮委員	①検討依頼条件書の事業条件に限定してしまうとアンケートを辞退してしまう民間事業者（プラントメーカー）が出てきてしまうのではないか。 ②概算見積のうち、運営費は20年間の費用を求めるということでよいのか。	
	事務局	①民間事業者（プラントメーカー）からは事業の範囲だけでなく、リスク分担を含めた事業条件そのものに対して意見をもらえるようにアンケート調査票を修正する。 ②運営期間については20年間に限定する必要はないと思われるため、民間事業者（プラントメーカー）の提案の年数に修正する。	
	山口委員	概算見積の条件に「SPCの事務所は原則、新リサイクルセンターの工場棟内に設置すること」とあるが、これは概算見積の条件として意味があるのか。SPCの設立の有無と事務所の所在地をどこにするかは別の問題ではないか。	
	事務局	御指摘のとおり、SPCを設立しないという提案をしたくてもできないように読み取れてしまうため、当該条件は削除とする。	
	宮脇副会長	リチウムイオン電池について、ソフト的な対応とハード的な対応について回答を求めているが、自治体側の対応策について情報収集を兼ねてヒアリングを行ってはどうか。	
	事務局	御意見を踏まえて修正する。	
	橋詰会長	審議会では様々な意見がでたが、今後のスケジュールについて御説明をお願いしたい。	
	事務局	当初は4月3日に民間事業者（プラントメーカー）へ送付するというで考えていたが、本日の審議会の内容を踏まえ事務局にて修正し、メール会議や審議会にかけて発送をしたいと考えているが、いかがか。	
	山口委員	本日の審査会の意見を踏まえて、事務局で整理いただければ、メール審議でもよいのではないか。	
	橋詰会長	メール審議でよいと思う。全般的に用語の表記ゆれが見受けられるので修正すること。	
	事務局	拝承	
4	次回会議日程について	事務局	第3回審議会は6月2日（金）19:00、本日同様の公開形式で開催する。
5	閉会	事務局	事務局が閉会を宣した。

以上